



函南社協
キャラクター

かななみ 社協だより

No.159 令和3年
11月15日
発行

社会福祉法人 函南町社会福祉協議会
函南町平井717-28 TEL(055)978-9288
ホームページ <http://kannami-syakyo.jp/>



12月よりスタート！
会員登録制
デマンドタクシーの
運行を開始します

詳細
P8

奴田場区



桑原区



ときどき みんなで作るコミュニティ農園 ファーム

2年目がスタート!!

アクティブシニアを対象に昨年9月より介護予防・社会参加・交流を目的に柏谷と間宮地区に土地をお借りし、参加者全員で農園をつくってききました。昨年度は秋から冬にかけて、チンゲン菜や菜花、ブロッコリー等、春から夏にかけてキュウリやトマト、ナスやオクラ等を植え付けから収穫まで行いました。時にはマーガレット保育園の園児や田方農業高等学校の生徒さん、沼津特別支援学校伊豆田方分校の生徒さんにも活動に参加していただき、世代間交流



令和元年9月スタート。初めての種まきにドキドキの参加者も。



収穫はみんなでワイワイ楽しく！保育園児との交流も！



採れた野菜をコミュニティカフェで販売。活動の幅が広がりつつある1年目。

そして2年目の活動へ！

を図りました。また、ダイハツ沼津販売株式会社と協働し、函南店を活用させていただいたコミュニティカフェ「D・Cカフェ」開催時にはときどきファーム産の野菜もブースに並べることができました。今年9月からは第2期生の参加者8名が共に活動しています。参加者の中には初めて農作業を体験する方も多く、戸惑いながらも講師である三田英哉様のご指導のもと、楽しみ



講師の三田先生はいつも笑顔がステキで、褒め上手です。だから皆さんの上達もとても早い！おかげで立派な野菜ができました。

ながら作業に奮闘している最中です。日々の野菜の育成状況や作業風景は随時ツイッターにも投稿していきますのでチェックしてみてください！



居場所づくり ストーリー

Part 3

気軽に寄れる場所を
作りたい…
そんな想いをのんびりと
追いかける不定期連載

居場所のなまえ、
考えました！

立寄処 すげちゃんち

コロナ禍で、すっかりおうち時間が定着した感もありますが、のんびりと杉山すげ子さんの居場所づくりは歩みをすすめています。

社協だよりに掲載後は、地域の方から「いつやるの？手伝うよ」というお声をいただいた、とにこやかなお顔でした。

取材に伺った際に話してくれた構想では、高校生が寄贈してくださったイスを並べ「イスがあるから、お茶でも一杯飲んで行って！と声を掛ければいいじゃない」とのこと。



「家の中へ上がってもらっちゃ、みんな遠慮しちゃうからここ（屋外の軒下）でちょこっとしゃべるだけでも楽しいじゃん！」



「高校生の作ってくれたイスはカラフルで明るくなるね～」

コロナ禍であることもふまえ、取組みが止まったり、動いたり繰り返しても『焦らなくて良いよ』ということを教えてくださいました。皆さんものんびり待っていてくださいね。

～地域のきずなで明るい住みよい町へ～

函南町民生委員・ 児童委員協議会 広報 いきいき

函南町民生委員・児童委員協議会（略して民児協）は函南町の民生委員・児童委員および主任児童委員の組織です。私たちの活動については、随時(不定期)お伝えしていきます。

民生委員・児童委員
として思うこと

障害児者福祉部会
部会長 宮内正博
(塚本区)



東京
2020
年
10
月
20
日

の不具合があります。我々にはその不具合を補う思いやる気配りが必要です。

民生委員児童委員の見守りはコロナ感染症を避けるため、要保護者とは少し距離を取って話したり、またその話も短めになっています。

まだまだコロナが続きます。連絡、打ち合わせ等は充分気をつけなければなりません。これからも見守りや活動を行っていくのですが、情報発信の転換が必要だと思えます。

民生委員児童委員になって8年経ちました。最初は要保護者に対して気を使いすぎたりしていましたが、今では冗談を言ったり気軽に話をしていきます。民生委員児童委員をしているおかげでまだまだ自分も成長しているなど感じています。

地域の“顔”にインタビュー

地域でボランティア活動にご協力いただいている方に活動のきっかけややりがいなど生の声を聞きました



File No.3

はせがわ そのえ
長谷川 園枝さん

社協事業「日常生活自立支援事業」の生活支援員や体操教室の運営ボランティアの他、町内で様々な活動をされています。いつもパワフルで自然とその場の雰囲気のパツと明るくなります。

Q ボランティアを始めたきっかけは？

民生委員をやった人と人との関わりの中でいろいろなお話を聞いたりしてちょっとした手助けができればと思って始めました。

Q 函南社協では様々な事業に関わっていただいています。やりがいや大変だなと思うことは何ですか？

大変なことはそんなにないですね。自分の時間の合間を縫って活動しているから苦にならないので、重荷にもならないし、やめたいとは思わないですね。むしろ一緒に関わっているから自分もパワーをもらえています。

Q 今後活動していく上で長谷川さんが思う地域の課題などはありませんか？

お年寄りも増えてきているからボラン



体操教室“楽らく”での1コマ

ティアをやってくたさる方が増えてくるというなと思います。

なるべくお年寄りの方がお家にいないで集まれる場を作って、今はコロナで大変なんですけど、一歩外に出ておしゃべりして最後に「あゝ楽しかった」という余韻を残してお家に帰る、そんな地域が理想ですね。若いママさんたちもお子さんを幼稚園に預けた後、お年寄りの方たちと何か交流ができないかなあと思っています。忙しくて時間に追わ

れているかもしれないですが、ホッとした時間を持ってもらえればなあと思いますし、自分の親以外の人ともそういう交流があるといいんじゃないかなあ。地域がみんな混じって一緒になって何かをやるのがいいと思いますよ。

Q 今後の社協に期待したいことは？

地域のためにいろいろなことを考えてくださっていますから、大変だと思いません。今の時代に合わせオンラインなんかも考えてくださったりしていますしね。今後は子ども食堂なんかも社協さんでやってくださるなら、私たちも一緒に協力できたりしますしね。社協+α(アルファ)の力でいろんなことに挑戦していつてもらいたいなと思いませんね。

災害ボランティア コーディネーター 養成講座参加募集

大規模災害発生時における支援活動等を目的に災害ボランティアコーディネーターを養成し、研修等を行いながら有事に備えて育成しています。本講座を受講し終了すると「静岡県ふじのくに災害ボランティアコーディネーター」の静岡県知事認定証が授与されます。

日時 令和4年2月6日(日)9:00～16:30(受付8:30)予定
会場 函南町役場2階 大会議室
定員 30名(先着順)
対象 高校生以上の町民(町内在勤・在学者含む)
締切 1月29日(金)
内容 第4次地震被害想定概要・避難所運営ゲーム HUG
災害ボランティアコーディネーターの役割と心構えなど
申込 函南町社会福祉協議会(十市) ☎055-978-9288
メール chiiki-info@kannami-syakyo.jp



温かいお気持ちをありがとうございました

10/15
受付分
まで

お寄せいただいた多くのご寄付は、地域福祉活動へ有効に活用させていただきます。(敬称略・順不同)

寄付金 山崎海南 120,000円 **物品寄付** 原田かよ(大土肥) 切 / 新井小夏(仁田) 牛 / 仲川八江子(塚本) 切 / 南地美枝子(柿沢台) フ・牛 / 山下昌久(上沢) フ・エ / 函南東部農協女性部(丹那) フ・牛・切 / 木内啓司(間宮) エ / 地主和子(ダイヤランド) 切 / 杉村さま(大土肥) ア・牛 / パサディナ号(上沢) 牛 / 真野真弓(新幹線) ウ / エームサービス(株) NTT 東日本伊豆病院事業所(平井) 牛 / 城山サロン ア・フ・牛・切・ウ・ハ・オ・エ / 堤香(上沢) 牛・切 / 上沢15組 ア・フ・牛・エ / 神尾泰子(柏谷) フ・牛 / 村上耀子(桑原) フ・牛 / 白井和代(間宮) ウ / 青木敏和(塚本) 牛 / 鈴木英史(パサディナ) フ / 伊藤昭代(パサディナ) 牛・エ / 佐藤愛子(仁田) フ / 石川久忠(塚本) エ / 共済福祉会受付担当(平井) フ・エ / 藤村妙子(間宮) フ・エ / 遠藤美徳(柏谷) ア・牛 / 宮本初代(間宮) エ / 千野和子(間宮) フ・牛・エ / 高原君江(白道坂) フ・エ / 御手洗均有志一同(新田) フ・牛 / レストラン Kiya(大土肥) 牛 / 藤間瑞貴(白道坂) エ / 小池百合子(塚本) フ・エ / 越後恭子(塚本) 牛 / ホームスタートかんなみ 牛 / 露木嘉子(上沢) エ / 上沢14組 ア・牛 / 今泉友子(パサディナ) エ / 仁田サロン初姫 雑巾

その他匿名でご協力くださった方々ありがとうございました!!

エ エコキャップ 牛 牛乳パック ウ ウエス フ プルタブ ア アルミ缶 切 古切手等 ハ ハガキ オ 紙おむつ



リサイクル物品回収BOX設置

リサイクルをもっと“身近に・気軽に・簡単に”感じていただけるよう、社協玄関口と2階事務所前にリサイクル物品回収BOXを設置しました。「プルタブ」、「古切手」、「牛乳パック」、「エコキャップ」をBOX回収しておりますので皆さまのご協力をお願いします。尚、ウエス、ハガキ、紙おむつ(未開封のもの)は今後も窓口でお預かりします。※社協だよりへの掲載をご希望の方は窓口へお声掛けください。

こんにちはボランティア 第112号

函南町ボランティア連絡協議会
問合せ先 978-9288

リーダーに聞く！

今回は各グループのリーダーにボランティアを始めたきっかけ等をお聞きました。

「つながる人の輪」給食グループ

安藤 房枝

私が給食ボランティアを始めたのは、「ほほえみの里の食事作りを手伝ってみたい？」と声をかけられたのがきっかけでした。「時間もあることだから…」くらいの軽い気持ちで引き受けたのですが、始めてみると楽しく充実した時を過ごすことができ、何より人のつながり、“輪”ができるのが嬉しい発見でした。

ひとつのボランティア活動から他のことにも興味が広がり、そこにも輪があり、また他の輪とつながっていきいます。この様に充実した日々を過ごすうちに5年、10年と経っていました。

それが昨年、すべてのボランティア活動がストップしてしまいました。グループによっては、活動方法を工夫しながら少しずつ再開しているようですが、給食グループはまだ暫く先になりそうです。再開した時には、ボランティアをやってみようと思う人が、少しでも増えていたらと思います。



「継続は力なり」施設作業グループ

木内 啓司

昨年から日本国中、新型コロナ禍で苦しみ、悩み、外出自粛のなか、余儀なく行動を制限されて中止せざるを得ないグループもありますが、私たち施設作業グループは、屋外での除草作業ですので人と密にならず、間隔をあけての作業で感染の心配はありません。初夏と秋に町内の3施設、高齢者ホームの敷地内の除草作業を終えた後には、施設の職員さんが感謝の気持ちを伝えてくれます。

継続は力なりの気持ちで、世の為、人の為に少しでも奉仕できれば幸いです。町内には、まだまだ元気で参加できる同志が沢山いると思います。興味のある方は、ボランティア活動に参加してみませんか。お待ちしております。



「声の広報を届けます」音訳グループ「まほろば」

水品 真澄

音訳グループ“まほろば”は、現在6名のメンバーで「広報かなみ」等を録音し、視覚に障害のある方や、高齢の方にCDにして配布しています。その都度記事を伝える難しさを痛感しながらも分かりやすい表現をと心がけています。コロナ禍での活動自粛を昨年は半年、今年は何ヶ月と余儀なくされましたが、めげずにこれからもメンバーそれぞれの“人となり”を現す素敵な声を「声の広報」としてお届けします。



「新リーダーになって」音読グループ「つくし」

岩城 まゆみ

仕事をやめてある日、ふと「今日は何曜日だったかしら。まてよ、これではボケてしまう、何かしないといけないな」と思いました。図書館にも行くようになり、「読み聞かせ」のお知らせを見て、私にもできるかしらと相談しました。そこで、司書さんの紹介で、音読グループ「つくし」に出会いました。入会して、5年目になりますが、毎回諸先輩方にくっついていくのがやっとなです。あまり分からないまま、リーダーのお役が回って参りましたので、まごまごしておりますが、先輩方のご指導とご協力をいただいで努めさせていただこうと思います。楽しみながら勉強して、進めていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

皆様も、「つくし」に興味を持って、遊びに来ていただき、一緒にボランティアをやりますか？



グループ紹介

園芸グループ

富永 和宜

認知症予防の一環として、園芸ボランティアに入部して11年が過ぎました。当時からのメンバーは3人。現在は9人のメンバー構成ですが、男は私一人です。

政府は法整備で年金の受け取り開始の選択肢を75歳まで広げてきています。ますますボランティアに加入してくれる人が、少なくなるのではないのでしょうか。今年はコロナワクチン注射と、異常な夏の暑さで体調を崩してしまい、2週間家で静かにしていました。仲間が創意と工夫で、辛うじて集まれるホームの草取りをしましたが、私は参加できませんでした。友人からのプレゼントの花の花芽が出ない、夏になると元気がないなど(庭木を含めた)、心配な方、ぜひ入部して一緒に学びませんか。園芸ボランティアは、男性の入部を募集中です！



グループ紹介

そばっこグループ



露木 義治

私たち、そばっこグループの活動で何と言っても一番は、「函南町ふれあい広場」でのそば打ちの実演と、美味しいそばを町民の皆様に試食していただく活動です。3年前の令和元年10月13日台風19号により、町内各地で大きな被害が発生し、予定していた「函南町ふれあい広場」が中止になってしまいました。令和2年は、新型コロナウイルス感染による世界的大流行の影響で中止になり、今年も新型コロナウイルス感染拡大で、3年連続「函南町ふれあい広場」が開催できませんでした。

今後、新型コロナウイルス感染症が終息して普通の生活が戻り、町民の皆様に美味しいそばを食べてもらえる日が、早く来ることを願っています。

グループ紹介 “無理せず楽しんで20年！”

コーラスグループははこぐさ

鈴木 光子

歌うことが好きな人が集まり、ボランティアを始めて20年。無理せず仲間と一緒に施設訪問(主に伊豆白寿園)。利用者の皆様が歌ってくださったと喜び合い、また、皆様方と慣れてからは、手を取り合っのリズム遊び。時に涙をこぼされる姿に、私たちまで胸がいっぱいになったりと、家では経験できないことが色々あります。

訪問の日は、始まる前に短いミーティングでプログラムの共有をし、終了後は感想や反省点を述べ合い、近況報告など仲間との交流の時間を持ち続けてきたことが、自然にグループを育ててくれたように思います。今はコロナ禍で訪問できませんが、リモートの利用も思案中。



12月よりスタート!

会員登録制 デマンドタクシーの 運行を開始します

でも…そもそも… **Q** デマンドタクシーって何?!

A 予約型乗合タクシーのことで利用者が事前に予約し、予約に応じて自宅と特定の施設をタクシー車両を使って乗合で運行する公共交通のことです!

というわけでこんなフォーラムやってみます!

これからの暮らし方と移動方法について考えるフォーラム ～自分らしく暮らしていける函南町へ～

例えば「運転免許の返納」の後はどう暮らすのか? そう問われたら「移動手段の確保が課題」と感じる方少なくないでしょう。「暮らし方」と「移動方法」は切っても切れない関係性にあります。実はその課題に取り組むいくつかの動きが、函南町では始まっています。住み慣れた地域での暮らし方について、移動の面から考えてみませんか?



開催日 2021年12月22日(水) 13:30～16:00 (受付開始13:00)

実施方法 会場またはオンライン ※お申し込みの際にどちらかをお伝えください

会場 函南町役場2階 大会議室

会場定員 50名 ※予約制(感染症予防の観点から人数を制限させていただきます)

参加費 無料

主催 函南町・函南町社会福祉協議会

申込・問合せ 函南町社会福祉協議会 ☎055-978-9288



- ◆ 13:35～14:15 基調講演「暮らしの移動を見直そう、活用しよう(仮)」
特定非営利活動法人全国移動サービスネットワーク
- ◆ 14:15～15:15 函南町で行われている「移動」を支える取り組み報告
「パサディナ号」函南パサディナ区
「かなみみおでかけサポート」函南町社会福祉協議会
「会員登録制デマンドタクシー くわ里号・ぬたタク」函南町
- ◆ 15:25～16:00 パネルディスカッション

社会福祉法人 函南町社会福祉協議会 TEL(055)978-9288



〒419-0107 函南町平井 717-28 保健福祉センター 2階
〈ホームページ〉 <http://www.kannami-syakyo.jp/>
〈メールアドレス〉 chiiki-info@kannami-syakyo.jp

◇地域包括支援センター TEL(055)978-1700
◇ほほえみの里デイサービス TEL(055)978-1771
◇わかくさ共同作業所 TEL(055)978-6038